

立川食中毒問題 給食再開を要望

民進議員ら

立川市立小学校7校の児童や教職員が食中毒の症状を訴えた問題で、民進党の長島昭久衆院議員や同党の市議らが9日、清水庄平市長に、停止している給食の早期再開を申し入れた。清水市長は、給食停止により弁当を持参している家庭に何らかの経済的補填ほてんをする考えを明らかにした。

市は、原因究明や再発防止策の検討のため、3学期中の給食停止を決めている。長島氏らは「保護者の働き方や家庭の経済状況を踏まえれば、給食の代替策を速やかに講ずべきだっ

た」とする要望書を提出。その後の記者会見では、保護者らから時間的、経済的な負担の声が寄せられているとし、「原因も判明しているので一日も早く給食を再開すべきだ」と語った。